

氷見の元気を発信する情報誌

広報

ひび

11

November 2020

No.805

新文化交流施設 安全祈願祭・起工式



- 2 ヒミカでまちめぐり
- 4 インフルエンザ予防接種を受けましょう
- 6 氷見ふるさとエネルギー株式会社を設立
～エネルギーの地産地消を目指して～
- 7 中国寧海県「友好交流都市協定」締結
クマの出没にご注意ください
- 20 〓住宅火災にご注意ください

新文化交流施設起工式(関連ページは5ページ)

HIMI

ヒミカ × まちめぐり

水色と白色のかわいらしい電動三輪車が氷見市のまちなかに登場！

愛称は、「氷見」と「カー(車)」で「ヒミカ」です。

車体には、氷見の海と立山の氷、特産のブリをモチーフにしたデザインが描かれています。

ヒミカの最高時速は20キロ。ゆったりと、氷見市出身のまんが家 藤子不二雄(ア)先生のキャラクター・モニュメントに出会える中心市街地をテーマパークのように楽しくワクワクしながら、Ride(乗る) & Walk(歩く)で巡っていただけます。

ヒミカに乗って氷見の魅力を再発見する旅に出かけてみませんか？

いろいろ

木の実&たね展！

世界の珍しい木の実ははじめ、ドングリや松ぼっくり、たねなどを展示！
11月20日～12月20日

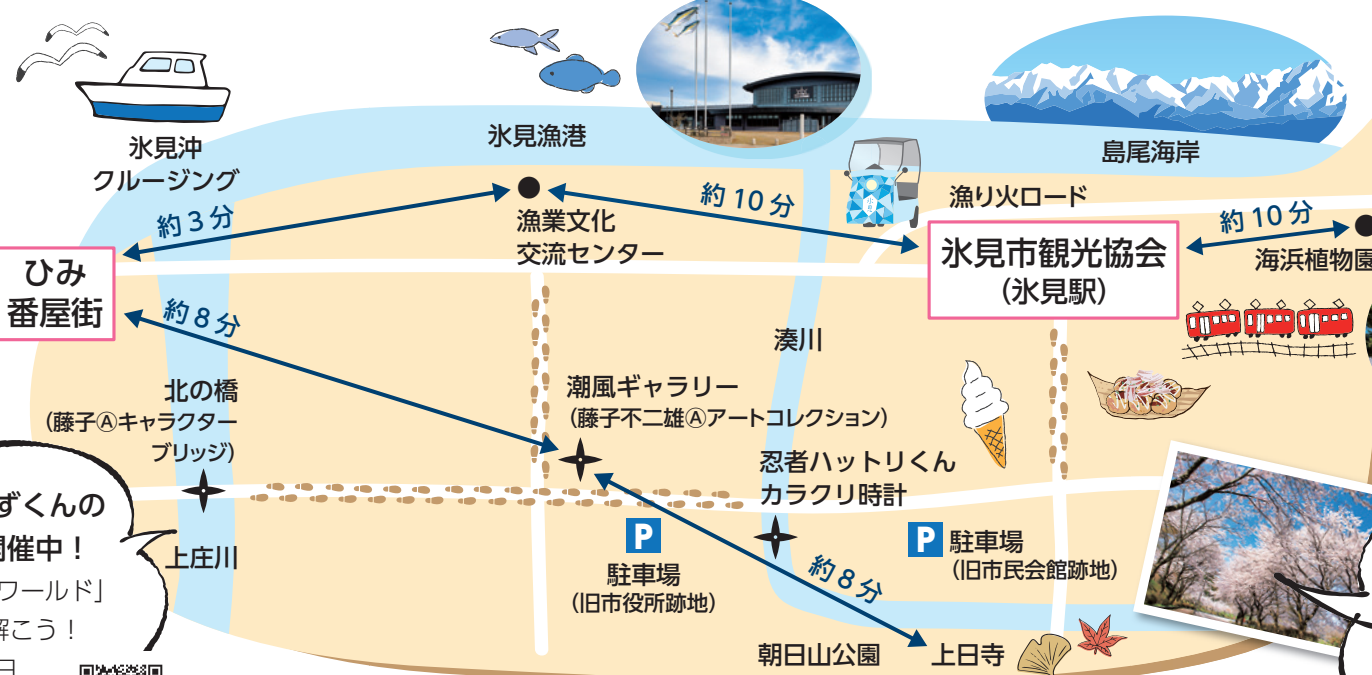
ひみ景観インスタグラム
フォトコンテスト開催中！

まちをめぐりながら、素敵な写真を撮影し、コンテストに応募しよう！
～2021年1月31日

はじめまして！
ヒミカです。



▼貸出場所
・氷見市観光協会 2台
(JR氷見駅内)
・ひみ番屋街 2台
(氷見市北大町25-5)



※ は、まんがロードです。 ※所要時間はヒミカでの運行時間の目安です。

謎解きラリー「ひみぼうずくんの
ハッピーチャレンジ」開催中！
「氷見市 藤子不二雄(ア)まんがワールド」
内の4カ所を巡って謎を解こう！
～2021年3月31日



貸出料金 3時間2,000円
貸出時間 午前9時～午後5時(最終受付 午後2時)
運休日 悪天候の場合、冬期(12月1日～3月10日)
※運転には、普通運転免許が必要です。

アンケートにご協力いただける方には
市内商店街14店舗で食べ歩きを楽しめる
「氷見つまみ食いクーポン500円分」を
乗車前にプレゼント！



【問合せ】
・ヒミカに関すること
一般社団法人 氷見市観光協会
☎74-5250 メール hello@himikan.jp
・氷見きときとファンクラブに関すること
氷見きときとファンクラブ事務局(商工振興課内)
☎74-8089 メール shokoshinko@city.himi.lg.jp

会員特典いろいろ！

氷見の最新情報をメールでお届け！
ポイントを貯めて懸賞に応募！
ファンミーティングにご招待！

11月3日(火・祝)までの入会で
先着100人

「オンラインファンミー
ティング」に参加できます。
11月30日(月)までの入会で
もれなく「氷見好き3
グッズ」をプレゼント！



詳しくは
ファンクラブHPで

「ココシル
ひみモビ」
から入会でき
ます！



「氷見が好き！」「氷見が
気になる！」という皆さん
と一緒に氷見を盛り上げた
い！と氷見市公式のファン
クラブを立ち上げました！
【対象】市外在住の人
市外に住むご家族・ご友
人などに、ぜひご紹介く
ださい。

「氷見きときとファンクラブ」
会員募集中！



ダウンロードは
こちらから

ヒミカ レンタル予約は
専用アプリ「ココシルひみモビ」から！

飲食・観光施設などの周遊スポットも！



市の公共施設に入館される皆さまへ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の施設の入り口に**非接触型「AI体温検知カメラ」**を設置しています。入館される全ての人を対象に検温とマスク着用の確認を行います。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



マスクの着用



手の消毒



検温の実施



AI体温検知カメラ

※イメージです。

設置箇所

- 氷見市役所
（正面玄関、夜間休日入り口、東口玄関）
- 新町保育園
- 阿尾保育園
- いきいき元気館（いきいき館、元気館）
- 寿養荘
- 斎場
- 漁業文化交流センター
- 潮風ギャラリー
- ひみ獅子舞ミュージアム
- 海浜植物園
- 教育文化センター
- ひみラボ水族館
- ふれあいスポーツセンター
- 市民プール
- トレーニングセンター
- B&G 海洋センター（パークゴルフ受付も含む）
- 消防署

※ AI 体温検知カメラを設置していない入り口からは入館できませんので、ご了承ください。

新文化交流施設だより

No.1

【問合せ】 新文化施設建設室 ☎74-8215

建設工事がスタートします！

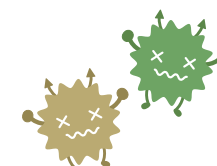
10月14日、新文化交流施設の建設地（旧市民病院跡地）で安全祈願祭・起工式が開催され、堂故参議院議員をはじめ市議会議員、地元関係者、設計者、施工者ら約30人が出席し工事中の安全を祈願しました。

林市長は「市民の皆さまに愛され、普段から気軽に立ち寄りたくなる、わくわくするような施設をつくりたい。」とあいさつしました。

令和4年7月の竣工を目指して、いよいよ建設工事がスタートします。工事完了まで長期間となり、周辺の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願いいたします。



インフルエンザ予防接種を受けましょう！



【問合せ】 健康課 ☎74-8062

インフルエンザの流行する季節が近づいてきました。インフルエンザの有効な予防方法は、流行前に予防接種を受けることです。予防接種を受けてから効果が現れるまでには、2週間程度かかります。また、その効果が持続する期間は、約5か月と言われています。予防接種の有効性を高めるために、早めに予防接種を受けましょう。

■高齢者のみなさんへ

次の人は、市が接種費用の一部を負担します。
対 象 接種日現在、市内に住所があり、次の①または②にあてはまる人
① 65歳以上の人
② 60歳以上65歳未満で心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある人（身体障害者手帳1級相当）

期 間 ～1月30日(土)

場 所 市内指定医療機関（右表のとおり）
※市外の医療機関などに入院・入所して、その施設内での接種を希望する人は、健康課にお問い合わせください。

個人負担金 1,500円

その他

- ・医療機関に予約をしてから接種を受けてください。
- ・接種を受けるときは、必ず健康保険証をお持ちください。

■中学生のみなさんへ

市では、市内在住の中学生を対象に子育て世帯の経済的・精神的負担の軽減を図るため、インフルエンザ予防接種費用を助成します。

対 象 中学生（義務教育学校後期課程および特別支援学校中学部を含む）

期 間 ～1月30日(土)

場 所 市内指定医療機関（右表のとおり）

助成額 1回につき上限3,000円
（接種料が3,000円未満の場合は、接種金額が助成となります。）

※接種時点で、13歳以上の方は1回、13歳未満の方は2回まで助成します。

助成方法

医療機関に備え付けの「氷見市子どもインフルエンザ予防接種費用助成券」に必要事項を記入し、医療機関に提出してください。

その他

- ・医療機関に予約をしてから接種を受けてください。
- ・接種を受けるときは、対象者確認のため、子ども医療費受給資格証またはひとり親家庭等医療費受給資格証をお持ちください。

市内指定医療機関		電話番号	高齢者	中学生
織坂内科医院	伊勢大町一丁目	☎72-6206	○	—
加藤医院	北大町	☎72-0608	○	○
金沢医科大学氷見市民病院	鞍川	☎74-1900	○	○
河合内科医院	中央町	☎74-5178	○	○
久目診療所	触坂	☎76-1088	○	—
澤武医院	幸町	☎72-0118	○	○
嶋尾内科医院	阿尾	☎72-0622	○	○
白石整形外科医院	柳田	☎91-5355	○	○
高木内科医院	大野	☎72-8686	○	○
高嶋クリニック	丸の内	☎72-0834	○	○
てらにし耳鼻咽喉科クリニック	本町	☎73-8080	○	○
中村記念病院	島尾	☎91-1307	○	○
西野医院	窪	☎91-7500	○	○
広瀬外科医院	本町	☎74-2600	○	○
福田内科医院	丸の内	☎72-5610	○	○
福老館クリニック	堀田	☎91-7720	○	○
ふちざわ子どもクリニック	加納	☎72-1557	—	○
ふるさと病院	鞍川	☎74-7061	○	—
正橋皮膚科医院	丸の内	☎72-0570	○	—
松井内科クリニック	伊勢大町二丁目	☎72-0074	○	○
山岸小児科医院	朝日本町	☎74-0258	○	○
ゆう内科クリニック	栄町	☎73-2811	○	○
陽和温泉病院	堀田	☎91-2751	○	—

■生後6カ月～小学6年生のみなさんへ

県では、生後6カ月から小学6年生までを対象に、インフルエンザ予防接種費用の助成を行っています。

対 象 生後6カ月～小学6年生（義務教育学校前期課程および特別支援学校小学部を含む）

期 間 ～1月31日(日)

助成額 1回につき上限3,000円（2回まで）
（接種料が3,000円未満の場合は、接種金額が助成となります。）

※指定医療機関など詳しくは、富山県ホームページをご確認ください。

【問合せ】 富山県インフルエンザ予防接種助成事業事務局
☎076-444-3505

「氷見市・寧海県友好交流都市協定」締結

10月14日、氷見市と中国の浙江省にある寧海県は、友好交流都市協定を締結しました。市として、これが海外との初の友好交流都市協定となります。

締結式は、氷見市と寧海県のそれぞれの会場をオンライン中継で結びリモート形式で行われ、氷見市からは市長のほか、市議会と経済団体や国際交流協会の代表者が列席しました。締結式では、林市長と滕安達県長が、今後幅広い分野での多様な交流と連携の推進を確認する挨拶を行った後、両県市を代表して協定書に署名しました。また、協定締結を記念して氷見市からは木彫「氷見寒鰯」が、寧海県からは「泥金彩漆龍提桶」（漆の浮き彫り提げ籠）の記念品が贈られました。また、氷見市会場では、中国の伝統芸能である変面が披露されました。

今後は、すでに交流が始まっている介護分野での人材交流をはじめとした、教育・文化に限らず幅広い分野にわたる相互の交流を通して、両県市の人や自然・食に触れるなどの親善友好を深めます。

寧海県の概要

〈面積〉1,843km²（氷見市の約8倍）
 〈人口〉68.5万人（氷見市の約15倍）
 ※2019年末現在
 〈県長〉滕安達（2020年5月9日～）



アクセス 上海から新幹線で約3時間



寧海県の様子

これまでの交流

2018年

7月 9日～15日 第1回中国養老施設職員短期研修の受け入れ
 12月10日～12日 第2回中国養老施設職員短期研修の受け入れ

2019年

1月 6日～ 9日 第3回中国養老施設職員短期研修の受け入れ
 7月14日～19日 「日中青少年交流推進年」の認定事業として中国人親子20名の受け入れ
 7月24日～26日 第4回中国養老施設職員短期研修の受け入れ
 10月 8日～11日 寧海県に視察団を派遣
 11月25日～26日 寧海県から代表団来氷
 26日 友好交流意向書締結

2020年

2月 氷見市から寧海県へマスクなどを寄贈
 3月 寧海県の桜まつり会場において開催を予定していた友好交流都市協定締結を、新型コロナウイルス感染症の影響により延期
 寧海県から氷見市へマスク1万枚の寄贈
 7月20日 オンライン交流会
 10月14日 友好交流都市協定締結

協定書の内容

日本国富山県氷見市と中華人民共和国浙江省寧海県は、日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明に基づき、両国民の相互理解と友情を深め、両市の友好提携関係を強固にし、発展させるため、友好的協議を経て、友好交流都市協定を締結することに合意する。

- 双方は、平等互惠の原則に従って、両市及びその市民は、経済貿易、福祉、保健衛生、科学技術、文化、教育、スポーツ、人材育成、観光など幅広い分野における多様な交流と提携を通じて、相互のさらなる繁栄と発展を推し進めることとする。
- 双方は、交流と提携に関する事務及び共通に関心を持つ事項を協議するため、密接な連絡を図ることとする。
- 本協定書は、日本語及び中国語を等しく正文とし、署名の日から効力を生ずる。

協定書を締結した氷見市と寧海県の関係者



氷見市から寄贈した木彫「氷見寒鰯」



寧海県から寄贈された漆工芸「泥金彩漆龍提桶」

第9次氷見市総合計画審議会を開催しました 【問合せ】 地方創生推進課 ☎74-8011

第1回氷見市総合計画審議会が9月25日、氷見市ふれあいスポーツセンターで開かれ、令和4年度から始まる第9次氷見市総合計画についての調査・審議が始まりました。

審議会では、市長が「市民の力を結集し、夢と希望を持てる計画にしたい」とあいさつし、市内各種団体の代表や学識経験者ら30人を委員に委嘱し、会長に中村和之富山大学副学長を、副会長に猶明孝信市自治振興委員連合会会長を選び、市長が中村会長に計画策定を諮問しました。また、本年6～7月に行った市民意識調査の結果、今後力を入れるべき

施策として「地方創生の推進」が最多の50.2パーセントであったことを報告しました。

総合計画は、市政運営の根幹となるまちづくりの目標を明らかにし、これを達成するための基本方針を示すものです。

新計画は、計画期間全体を10年間とし、来年5月の基本構想の答申、令和4年2月の基本計画の答申に向けて審議されます。



市長から会長へ諮問

氷見ふるさとエネルギー株式会社を設立

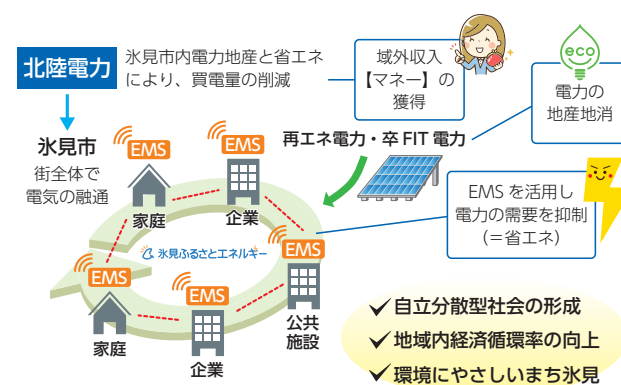
～エネルギーの地産地消を目指して～

【問合せ】 本社：氷見市南大町10番1号
 氷見商工会議所3F
 ☎0766-54-5200 FAX0766-54-5208

氷見市では、地域で創出される再生可能エネルギーの利用とその活用による地域内経済循環を促進するために、令和元年度から経済産業省のエネルギー構造高度化実証事業（*）に取り組んできました。今後、この取組みをさらに推進するとともに、エネルギー事業で生じる収益の活用による地域活性化事業に取り組むにあたり、その核となる「氷見ふるさとエネルギー株式会社」を設立しました。

この会社は、市及び市内民間団体等の共同出資により設立され、エネルギー事業と地域活性化事業の二つの事業を中心に、エネルギーの地産地消に取り組めます。

（*）再エネを活用した持続的かつ自立的な地域の発展につなげることを目的とした事業。



ご挨拶



化石燃料から再生可能エネルギーへのシフトが、世界ではどんどん進んでいます。でも日本は、この分野で相当な後進国。氷見市は、日本の中でも先陣を切ってそこへ踏み出そうと決めました。これは、小さな街の大きな志を持ったチャレンジです。

どうぞ皆さまも人ごとと思わず、関心をお寄せください。そうすると、この街も、きっと変わり始めると思います。

2020年10月 代表取締役社長

篠田 伸二
 （氷見市副市長）

主な事業内容

■エネルギー事業

2020年11月から

- 公共施設への電力取次事業
- エネルギー構造高度化に関する普及啓発事業
 - ・再生可能エネルギーの活用や省エネルギーに関する市民フォーラムを開催
- 公共施設の電力需要調整事業 など

2021年4月から（予定）

- 事業者向け屋根借りによる太陽光発電設置
- 事業者向け再エネ・省エネ機器導入支援事業 など

■地域活性化事業

2020年12月から（予定）

- 北陸電力の通常の電気料金から3年間割引
 - ・子育て世帯に ひみ育て応援でんき
 - ・転入した人に ウェルカムひみでんき
 - ・創業する人に 創業支援でんき
- ひみふるさと応援でんき
 - ・首都圏在住の市ゆかりのある人に電気を販売

2021年4月から（予定）

- 高齢者見守りサービス導入支援事業
 - ・人感センサーによる遠隔見守りサービス導入を支援